

令和 6 年度 地元産業界等との地域の課題解決に向けた連携事業の実施

1. 連携している地元産業界等の組織名称

株式会社 MYG など

2. 当該連携事業における地域の課題、その課題解決に向けて設定した目標

課 題

アフターコロナにおける地元産業・飲食業界の活性化

目 標

イベント運営を通じた、コロナ禍に落ち込んだ地元産業・飲食業界のサポート

3. 2の課題解決に向けて実施する取り組みの内容

新型コロナウイルス感染症の影響により需要が大きく落ち込んだ飲食店に活気を取り戻すことを目的として、2021 年に函館市大門地区のはこだてグリーンプラザにおいて「はこだてダイナマイトサマーフェス」が初めて開催された。本学の学生は 2022 年および 2023 年に続いて参加し、今年も 2024 年 7 月 13 日から 15 日までの 3 日間にわたり活動を行った。今年は会場を函館シーポートに移して大規模に開催され、学生にとっては出店している飲食店や企業を支援するとともに、イベントの運営を通してチームワークを学ぶ貴重な機会となった。

本イベントは、メインステージエリア、アクティビティエリア、マルシェエリアの三つに分かれており、学生も各エリアに分かれて役割を担った。メインステージエリアでは、テーブルやイスの配置、仮設トイレの管理、さらには演者のステージマネジメントを担当した。また、会場が広大であったため、来場者に対する会場案内も重要な業務の一つとなった。アクティビティエリアでは、キッズバイク体験の会場設営や参加者への説明を担当するとともに、物販ブースのサポートも行った。マルシェエリアでは飲食や物販のサポートに加え、設けられたサブステージでの運営補助も担った。さらに、全てのエリアでごみステーションの管理を行い、来場者からのごみを回収・分別することで会場の清潔維持に貢献した。学生は基本的に担当エリアでの活動を中心としたが、必要に応じて人員不足のエリアを補助するなど、柔軟に対応した。

イベント終了後には、各グループが自らの取り組みを整理し、2024 年 7 月 25 日に活動内容を報告した。その後、株式会社 MYG を含む運営担当者の会合において、「各エリアでの支援に加え、ごみステーションの運営が非常に良く、会場を清潔に保つことができた」「広い会場内を臨機応変に動いて活動してもらえて大変助かった」との評価をいただいた。こうした外部からの肯定的な意見は、学生にとって大きな励みとなり、今後の学習活動にもつながる成果となった。